

2016年度関西学生バスケットボールリーグ戦

男子	1部リーグ戦	勝チーム	敗チーム
試合日	2016.09.17		
開始時間	14:30	63	54
会場	大阪体育大学(第6体育館)	(14 - 15 21 - 15 13 - 11 15 - 13)	関西大学
コート	A コート		
試合NO	136	勝ち点3	勝ち点0

戰評

【総括】

リーグ戦未だ勝ち星を挙げていない関西大学と、2次リーグに向けて勝ち点を挙げていきたい大阪経済大学。試合は互いに点を決めきる事ができず、均衡状態が続き厳しい展開となつたが、大経大#33重本のリバウンド力、そしてインサイドシュートが流れを作り、大経大が大事な一戦を制した。

【第1ピリオド】

このピリオドは両チームともゆるやかな展開で幕を開けた。はじめにその流れを変えたのは大経大#1木下。3Pシュートを重ねチームに勢いをつける。しかし関西大の固く厳しいディフェンスでなかなか流れをつかむことができず、均衡状態に入った。互いにシュートが入らない中、関西大#34井上のリバウンドで大経大にセカンドチャンスを与えず、15-14関西大リードで第1ピリオド終了。

【第2ピリオド】

両チーム一步も譲らず、リバウンド争いを繰り広げる我慢の時間が続く。その後も両チーム点数を引き離すことができず、試合の流れが動かないまま第2ピリオド中盤で関西大はタイムアウトを要求。タイムアウト明けも点差が広がらない苦しい展開が続く。大経大#21牧谷が3Pシュートを決めると関西大#11森田も3Pシュートを決め返すなど、まさに一進一退の攻防が繰り広げられる。しかし大経大#10志方がシュートをを決めるも立て続けに#5大原のアシストから#33重本のシュートで一気に点差が8点まで開く。負けじと関西大#5石野が3Pシュートを沈めるも、勢いづいた大経大のオフェンカに追いつくことが出来ぬまま、35-30大経大リードで前半が終了する。

【第3ピリオド】

開始早々、大経大#10志方のミドルシュートが決まり、一気に点差を広げようと試みる。関西大も流れを許すまいと#11森田と#34井上のスタイルで得点チャンスを量産するが、得点に繋げることが出来ない。勢いを掴みたい大経大はゴール下のシュートを決め点数を重ねる。しかしながら点差が広げることができず均衡状態に入ってしまう。終盤、関西大#16大澤がレイアップシュートを決め、48-41で大経大がリードのまま第3ビリオド終了。

【第4ピリオド】

第4ピリオド開始直後、流れを掴みたい関西大は1-3-1のゾーンディフェンスを仕掛け。だが、大経大の#33重本がゾーンディフェンスを崩しインサイドシュートを重ね、点差を広げにかかる。関西大は点差を縮めることができず、マンツーマンディフェンスに変えるも、大経大のインサイドシュートをくい止めることができないまま終盤戦に突入する。大経大は#10志方のミドルシュートや#33重本の持ち前のフィジカルを活かしてリバウンドを掴み、ペースをつかむ。関西大は激しいディフェンスから得点を重ねるも、流れを掴めぬまま63-54で試合終了。

主審	稻田 篤	副審	幡丸 登志久	戦評	村山 英(関西学連)
	記録		関西学生バスケットボール連盟		